

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 3 月 5 日

事務事業名		交通安全施設整備事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続		事務事業No. 040302000352		
		政策体系上の位置付け				単独/補助		060101		
政策体系	総合計画の施策名	0403 交通安全対策の推進				主要事業		対象外		
	政策名	04 快適で潤いのある生活環境づくり				市長マニフェスト		対象外		
	施策名	03 交通安全対策の推進				未来PJ事業		対象外		
	基本事業名	02 交通安全施設等の整備				合併建設計画事業		対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	08	02	02	01	00	単年度繰返し (年度~)			
法令根拠							道路維持事業			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
桜川市民が安心して安全に過ごせる地域の交通事故防止・交通安全の確保のため、道路管理者としてガードレール、道路標識、道路反射鏡、視線誘導標等、交通安全施設の新設・補修を行う。	市民からの要望、区長申請や担当による危険回避のための交通安全施設の設置、補修、点検を行う交通安全施設の要望、必要箇所の点検 → 現地調査 → 設計 → 発注 → 監督 → 完成検査

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
ガードレール、道路標識、道路反射鏡、視線誘導標等、交通安全施設の新設・補修を行う。	要望件数	件	55.00	60.00	60.00	60.00	60.00
	現場調査件数	件	82.00	76.00	100.00	100.00	100.00
	安全施設設置箇所	箇所	63.00	68.00	70.00	70.00	70.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
交通事故が多い場所や見通しの悪い道路を通行する市民	人口	人	43,190.00	42,444.00	42,048.00	41,652.00	41,256.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)
人、自転車、車など通行者に注意を喚起し、スムーズに通行できる交通環境を整え、交通事故の防止、抑制を図る。	安全施設整備箇所/要望件数	%	114.00	113.00	116.00	116.00	116.00
	安全施設整備箇所/現場調査件数	%	76.00	89.00	70.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	4,209	4,638	5,336	5,000	5,000
	事業費計(A)	千円	4,209	4,638	5,336	5,000	5,000	
人件費	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	
	述べ業務時間	時間	509.00	528.00	500.00	500.00	500.00	
	人件費計(B)	千円	1,477	1,532	1,451	1,451	1,451	
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,686	6,170	6,787	6,451	6,451	

事業費の内訳	27年度事業費 実績(千円)		28年度事業費 予算(千円)	
	11 需用費	891	11 需用費	432
	15 工事請負費	3,417	15 工事請負費	4,870
	16 原材料費	330	16 原材料費	34
	合計	4,638	合計	5,336

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	交通安全施設整備事業	事務事業No.	40302000352	所属課	建設課
-------	------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 戦後、わが国の本格的な自動車交通の夜明けと共に、道路行政も交通安全施設の充実が求められるようになった。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 申請から施工までの時間短縮をしてほしい。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 道路の危険箇所を改善することは、交通事故減少に直結するため結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市は市道の道路管理者であることから、妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 交通安全施設は交通安全に欠かせないものであるため、向上の余地はない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 道路の安全確保を怠ることになる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がないため
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 安全で安心のまちづくりのために、道路の安全確保が必要となるため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 道路の安全確保は公平・平等である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・平成24年度市内小中学校通学路緊急合同点検を実施したことに伴い、平成26年度、桜川市通学路安全推進会議を設置し、市内通学路の安全を図るため桜川市通学路交通安全プログラムを策定した。今後は、本プログラムに基づき関係機関の連携を密にし、これらの取り組みをPDCAサイクルとして繰り返し実施し通学路の安全性の向上を推進する。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 膨大な予算が必要となるが、国庫補助等の採択を得られるよう努力し事業を推進する。	(6) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 ④																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑧																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>